

総合振興計画後期基本計画(素案)の修正について

6. 行財政経営分野

施策大項目	5. 自主性・自立性の高い財政運営の確立	大項目名の変更必要性	なし
-------	-----------------------------	------------	----

市民アンケート結果	項目名	財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている			
	調査年度	H24年	H28年	R3年	参考順位
	満足度	-0.45	-0.12	0.04	14/36位
	重要度	1.28	1.11	1.06	26/36位

市民の声	【市民アンケートより】行政サービスと市民負担とのバランスについて、「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」が45.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.9%、「負担は変えないこととし、結果的にサービス水準が下がるのはやむを得ない」が14.4%と続いている。自由意見は以下のとおり。「公共財施設の統廃合。人口減少に伴い使用頻度が減る施設が多くなってくる。一度作られた制度や施設の廃止は難しいが毅然として立ち向かうこと。」「ふるさと納税で税収が見込める魅力ある市になって欲しいです。」「税金の減少は目に見えています。今までのように、全方位の支援を見直し、優先順位をつけた対策を実施すべきです。」			
------	---	--	--	--

関連するSDGs (各課回答より)	11 住み続けられるまちづくりを
	12 つくる責任、つかう責任
	17 パートナーシップで目標を達成しよう

「成果指標」 「現状」の 項目案 (各課回答より)	成果指標/現状	現行通り	経常収支比率	←問題なし
	成果指標/現状	現行通り	実質公債費比率	←問題なし
	成果指標/現状	現行通り	将来負担比率	←問題なし
	成果指標	現行通り	20歳代・30歳代の転入超過人口	←要変更

現行計画の内容	次期計画素案における変更・加除（案）
---------	--------------------

現況と課題

●本市の財政状況は、少子高齢化社会の進行に伴う生産年齢人口の減少により、経済活動の縮小や停滞が懸念され、市税収入の減少が見込まれる一方で、社会保障経費の増大や老朽化する公共施設の維持管理・更新費用等の歳出の増加が見込まれており、厳しい状況が続くことが予想されています。

●活力ある、持続可能なまちづくりの実現のためには、財政健全化の根幹である自主財源を確保するとともに、まちの魅力を発信・創造し、市内外の人や企業から「選ばれるまち」となる必要があります。

●「選択と集中」の考えのもと、効率的・効果的な行政経営の推進に努めるとともに、公共施設等の整備については、中長期的な視点により計画的な事業の実施に取り組んでいく必要があります。

●課税の適正化に努め、一層の納税意識の向上や収納体制の強化などにより、債権の適正な管理を行う必要があります。また、企業誘致やふるさと納税による寄附者の増加を図るとともに、各種行政サービスの受益者負担の見直しを行う必要があります。

現況と課題

●本市の財政状況は、少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少により、経済活動の縮小・停滞が懸念され、市税収入の**大幅な伸びが見込めない**一方で、社会保障経費の増大や公共施設の更新・修繕等の歳出の増加が見込まれており、厳しい状況が続くことが予想されています。

●**持続可能なまちづくりのために**、財政健全化の根幹である自主財源を確保するとともに、**重点的な資源配分(メリハリ付け)により、効率的・効果的な行財政経営の推進に努める必要があります。**

●健全な財政運営を図るため、**公平で適正な課税に基づく安定した税収の確保や、受益者負担の適正化に継続的に取り組んでいます。**また、ふるさと納税制度の活用や**ネーミングライツの導入**により、自主財源を確保する取組を推進しています。今後も、**本市の地域資源を**、まちの魅力として発信することにより、市内外の人や企業から「選ばれるまち」となる取組を推進していく必要があります。

めざす姿

●安定した財源確保により、健全な財政運営が行われています。

●各種サービスにおける受益者負担の見直しが行われ、負担の適正化が図られています。

●公共施設等について総量の削減や長寿命化を推進し、維持管理・運営の効率化等に計画的に取り組むことで財政負担を縮減し、安全で持続可能な施設整備が行われています。

←変更あり ●**多様な手段による自主財源の確保と適切な予算執行により**、健全な財政運営が行われています。

←変更なし

←変更なし

施策中項目	1 自主財源の確保	評価回答部署	収納課、課税課、広報課、企画課
		内容	●適正な課税と納税・納付への意識啓発を促進し、納税・納付秩序の維持を図るとともに収納率の向上を目指し、安定的な自主財源の確保に努めます。 ●優良な企業の誘致や地元雇用の創出、ふるさと納税制度による寄附者の増加を図り、また、広告収入やネーミングライツなどの多様な財源の確保に取り組みます。

←変更あり

●適正な課税と納税・納付への意識啓発を促進し、納税・納付秩序の維持を図るとともに収納率の向上を目指し、安定的な自主財源の確保に努めます。
●優良な企業の誘致や地元雇用の創出、**企業版クラウドファンディングを含めたふるさと納税制度等**による寄附者の増加を図るとともに、広告収入やネーミングライツなどの多様な財源の確保に取り組みます。

施策中項目	2 計画的な財政運営	評価回答部署	財政課
		内容	●中長期的な視点に立ち、市財政が健全に運営されるよう、財政収支の見通しを作成し、計画的・効率的な財政運営に努めます。 ●地方公会計による財務諸表の整備活用により、市民に分かりやすい情報の開示を行うとともに、財政運営の効率化・適正化を図ります。

←変更あり

●中長期的な視点に立ち、市財政の健全性を確保するよう、財政収支の見通しを作成し、計画的・効率的な財政運営に努めます。
●地方公会計による財務諸表など市民に分かりやすい**財政状況の公開、入札・契約事務の透明化**に努めるとともに、財政運営の**適正化**を図ります。

施策中項目	3 財産管理の効率化	評価回答部署	財政課	←変更あり	●公共施設の効率的、効果的な運営ができるよう適正な施設管理を行います。 ●未利用地について、今後利用の計画がないものは、積極的に公売するなど、自主財源を確保するとともに、 適正な財産管理に努めます。
		内容	●公共施設の効率的、効果的な運営ができるよう適正な施設管理を行います。 ●公共施設の跡地等について、地域の特性や将来の利用可能性等を検討し、将来的に利用計画のないものについては、積極的に公売に付し、自主財源を確保するとともに、財産管理のスリム化を進めます。		
	4 事業コストの縮減	評価回答部署	企画課	←変更あり	●市民のニーズに即した「選択と集中」による事業を実施し、計画的な行政経営を図ります。 ●事務事業評価※により、事業の有効性や効率性を継続的に検証し、 事業のスクラップアンドビルドを図ります。
		内容	●市民のニーズに即した「選択と集中」による計画的な行政経営を実施します。 ●事務事業評価※を実施し、事業の有効性や効率性を検証します。		
5 公共施設等の適正な配置	評価回答部署	企画課	←変更あり	●市の保有する全ての公共施設等について、中長期的な視点から施設総量の削減や長寿命化の推進、維持管理・運営の効率化等に取り組み、財政負担を縮減するとともに安全安心な施設を通じた行政サービスを提供します。 ● 社会情勢や財政状況を踏まえた上で、各施設が有する課題の解決に向けて、市民との合意形成を図りつつ、長期を見据えた公共施設マネジメントのビジョンを構築することで、公共施設の適正な配置を実現します。	
	内容	●市の保有する全ての公共施設等について、中長期的な視点から施設総量の削減や長寿命化の推進、維持管理・運営の効率化等に取り組み、財政負担を縮減するとともに安全安心な施設を通じた行政サービスを提供します。			
6 まちの魅力創造	評価回答部署	広報課	←変更あり	6 まちの魅力創造と移住定住促進 ●まちの魅力が向上し、市内外の人や企業に「選ばれるまち」になることが必要です。魅力ある地域資源を掘り起こし、積極的な情報発信に取り組みます。 ●本市におけるシティプロモーション戦略である「選ばれるまちとなり、定住人口が増加することで持続的に発展すること」の実現に向けて、「①認知度の向上、②関係人口※の創出、③移住・定住者の増加」に取り組み、移住定住の促進につなげます。	
	内容	●まちの魅力が向上し、市内外の人や企業に「選ばれるまち」になることが必要です。魅力ある地域資源を掘り起こし、積極的な情報発信に取り組みます			

協働による取組	●まちのイメージの向上のため、ワークショップ等を開催し、市民の積極的な参加を求め、あわせて市民自らが地域への愛着と誇りを高め、「選ばれるまち」に向けたシティプロモーションを協働で作りに上げていきます。	● 高校生等を含めた幅広い 市民自らが、地域への愛着と誇りを高めていけるよう、ワークショップ等による まちづくりへの積極的な参加を促し 、「選ばれるまち」となるため、市民と協働でシティプロモーションに取り組みます。
---------	--	---

	計画名	期間	概要	変更有無	計画名	期間	概要
関連計画	本庄市公共施設再配置計画	H27年3月-	公共施設(ハコモノ施設)の更新や維持管理に関する財政負担の縮減・平準化、施設全体の最適化を図るための基本的な考え方や全体目標、取組方針等を定めた計画	←変更なし			
	本庄市公共施設等総合管理計画(インフラ編)	H28年3月-	道路や橋梁、上下水道など社会基盤施設(インフラ施設)に関して、将来にわたり安全に安心して利用するための維持管理・運営に係る基本的な方針を定めた計画	←変更なし			
	本庄市公共施設維持保全計画	H29-R28年度	公共施設(ハコモノ施設)の今後の長期的な改修や更新について定めた計画	←変更なし			
				新規	本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略	R5-R9年度	将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指すため、人口減少の抑制と地方創生の取組について定めた計画

	事業名	事業概要	変更有無	事業概要
主な事業一覧(資料編)	①市税等収入の増加	口座振替の推進及びマルチペイメントネットワーク※等を利用した納税・納付方法の多様化を図るとともに、税や料金の滞納者対策を進め適正な債権管理に努めます。	←変更なし	
	②受益者負担の適正化	使用料や手数料について、サービス提供にかかるコストなどを検証し、利用者の負担割合、減免となる条件や減免割合を見直します。	←変更なし	
	③財政収支の見通しの策定	財政状況を確認した上で、財政を健全化するための計画として、中長期的視点により、財政的な数値目標を掲げた財政収支の見通しを策定します。	←変更あり	事業名の変更: 「財政収支の見通しの作成」 持続可能で安定的な財政運営を図るため、中長期的な視点により、財政収支の見通しを作成し、 財政運営上の課題を明らかにするとともに、必要な改善に向けた取組を進めます。
	④公共施設の効率的・効果的な運営	公共施設の相互利用を促進し、施設の有効利用を図るとともに、計画的な管理やスリム化など効率的・効果的な運営を進めます。	←変更あり	近隣市町との公共施設の相互利用により、施設の有効利用を図るとともに、計画的な維持管理や適正な配置等に取り組み、効率的・効果的な運営を進めます。
	⑤事務事業の見直しによる経常経費の縮減	事務事業評価※を通じて、事業の目的や効果コストを明確にするとともに、事業の見直しにより経常経費の縮減に努めます。	←変更あり	事務事業評価※を通じて、事業の目的や効果・コストを明確にするとともに、事業の見直しにより経常経費の縮減に努めます。
	⑥長期化・固定化した補助金等の見直し	目的が達成されたものや効果が薄れた補助金等について、廃止などの見直しを行います。また、新規事業については「本庄市補助金等適正化委員会」において、客観的に判断します。	←変更なし	
	⑦シティプロモーションの推進	市民とともに地域資源や魅力を見直し、発見・創造し、地域への誇りや愛着など住民意識を高め、あわせて人、モノ、企業を呼び込み、選ばれる本庄市として認知度や好感度、関心を高めることを目指して、関係機関と連携し周知、情報発信活動を推進します。	←変更あり	本市を知る機会と興味を持つ方々を増やすため、メディア戦略を駆使したシティプロモーションを実施し、本市の魅力を市内外へ発信するなど効果的なシティセールスを推進します。また、市内に複数ある高校を重要な地域資源の一つと捉え、通学する高校生の地域愛の醸成を図ることで関係人口※の増加に努めます。